

# 保全活動日記 vol.21 2018年5月6日(日)

## ●保全活動実施報告

●参加人数：43 名

●活動内容：当日は3箇所に分かれて活動を行いました。北側の尾根先の広場では、ビオトープ池をつくるための草刈り、南西側のツツジ林では剪定と下草刈り、竹林エリアではハチクの間伐を行いました。

●実施日：2018年5月6日(日)

●時間：9時00分～12時00分

●天気：晴れ



### 活動エリア



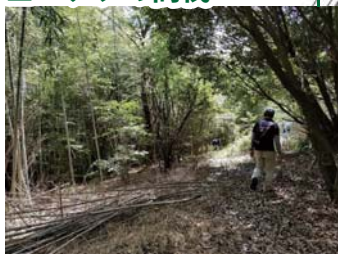
### ■ビオトープ池づくり



### ■二次草原の早期再生の実験



### ■ハチクの間伐



いずみ環境くらぶといっしょに間伐したハチクです！



ハチク林が拡大すると里山の植生に影響するので注意が必要です。

昔自衛隊の車が通行して出来た穴？

草を刈っておけば、雨で水がたまり、カエルやトンボが集まってくるかもしれません。

木ヤセを抜根して多様な草花が芽吹くか実験中です。約2ヶ月が経過しましたが、芽吹きは、ぼちぼち？まだまだ？の状況です。

### ■南西側草原のツツジ林



ツツジの花を来年以降も元気に咲かせるために、枝の剪定を行いました。

至：惣ヶ池湿地

集合場所

1:1600 0 10 20 30 40 50 100m

凡例

	活動実施場所		市道
	これまでの活動実施場所		散策路





## ④活動の成果！

南西側草原のツツジ林は春先の山火事により、枝や幹が炎で焼かれてしまいました。しかし、一部の枝からはツツジの花が咲いていました。

日本の風土に根づいているツツジは丈夫で、毎年美しい花を咲かせます。また、ツツジは「日当たりがよく、水はけのよい場所」を好むようです。

引き続きメンバーで下草を刈り取りっていきます。今後も、きれいな花がもっと咲くことを願っています！

＼写真はモチツツジです／



## ④ビオトープ池

ビオトープは元々、Biotopというドイツ語で、生きものの場という意味です。身近な自然が失われつつある中で、このような場所を整備・保全し、トンボやカエルなど、なじみ深い小動物や小鳥、植物などを呼び戻し、生物の多様性を保持していこうとするものです。

北側尾根先の広場は、トンボやカエルが集まるか今後も注目すべき場所です。



作業前



作業後

## ④信太山丘陵の生物多様性！

＼フタスジサナエ／

フタスジサナエは大阪府のレッドデータリストで準絶滅危惧種に登録されているトンボです。

幼虫で越冬したものが、5月の上旬には羽化し、6月頃まで成虫が見られるようです。池の岸辺の浅いところで停滞飛翔をして、ばらまきのように産卵します。



ニガナ／

### ④草原に咲く野草の花です

＼ニガナ／



＼ニワゼキショウ／



＼ミヤコグサ／



▼「信太山丘陵市有地」についての詳しい情報は、＼QRコードで読み取り／

市のホームページをご覧ください。

＼以下のワードで検索／

信太山丘陵市有地

検索

